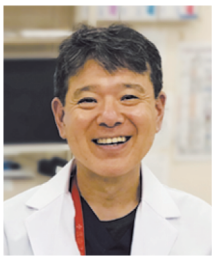
第19回 日本ヨーガ療法学会 研究総会 in 沖縄

第19回日本ヨーガ療法学会研究総会 沖縄大会 大会長



津波古 判 Wakatsu Tsuhako
歯科口腔外科医

1961年（S36年）8月1日沖縄県那覇市生まれ。沖縄県読谷村在住。那覇市立病院歯科口腔外科勤務、役職/部長
1987年城西歯科大学（現 明海大学歯学部）卒業　1987年/琉球大学医学部歯科口腔外科入局
1988年/琉球大学医学部医学研究科（大学院）入学
1993年/卒業、琉球大学医学部歯科口腔外科助手
2000年/沖縄赤十字病院歯科口腔外科医長
2005年/那覇市立病院歯科口腔外科勤務
2014年/那覇市立病院歯科口腔外科部長
学位/1993年医学博士（琉球大学）

講演者紹介

白石 豊 Yutaka Shiraishi
朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科教授　福島大学名誉教授

1954年岐阜県生まれ。1979年筑波大学大学院体育研究科修了。日本ヨーガ療法学会理事などをつとめる一方で、下記のようなトップスポーツ選手にメンタルトレーニングの指導を行い、成果を挙げている。
○プロ野球 日本ハムファイターズ（2001年～2004年）下柳剛投手（阪神タイガース、2005年セリーグ最多勝） 田中賢介選手、鶴岡慎也捕手（日本ハムファイターズ）大野奨太捕手（中日ドラゴンズ） 岡大海選手（千葉ロッテマリーンズ） ○バスケットボール 萩原美樹子選手（日本リーグ４年連続得点王）アトランタオリンピック日本代表チーム（7位）○新体操 シドニーオリンピック日本代表チーム（5位）○スピードスケート 田畑真紀選手（バンクーバーオリンピック、銀メダル）○剣道 内村良一選手（全日本剣道選手権優勝3回、2015年世界選手権大将 優勝）○レッドブルエアレース 室屋義秀選手2016年ワールドシリーズ第3戦優勝、2017年ワールドシリーズ第2戦、第3戦、第7戦、第8戦優勝、年間総合優勝、2019年第1戦、第2戦、第4戦優勝、年間総合2位）など。

C・スー・カーター C・Sue・Carter
キンゼー研究所所長、インディアナ大学ブルーミントン校生物学教授、イリノイ大学シカゴ校名誉教授
同大学精神医学分野心身センター共同ディレクター

イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校の心理学、生態学、民族学、進化論分野の教授を経て、メリーランド大学生物学特別教授。国際行動神経科学学会前会長を努め、現在も研究員として在籍。アメリカ科学振興協会研究員。米国国立精神衛生研究所研究員賞受賞。300以上の査読付き論文を執筆、“Attachment and Bonding: A New Synthesis” (MIT Press,2006)を含む5冊を出版。
社会的行動とオキシトシンの関係を発見した科学者であり、人間の社会性維持を可能にする生理学的システムの中心に、いかにしてオキシトシン回路が存在するのかを研究している。

ステファン・W・ポージェス Stephen・W・Porges
イリノイ大学名誉教授、メリーランド大学名誉教授、ノースカロライナ大学精神医学教授を歴任。
インディアナ大学付属キンゼー研究所トラウマセンター研究センター所長。インディアナ大学名誉研究者

心理生理学学会会長、行動脳科学学会連盟会長を務め、国立精神衛生科学研究開発賞受賞。麻酔学、生物医学工学、救命救急医学、人間工学、運動生理学、老年学、神経学、神経科学産科学、小児医学、精神医学、心理学、心理測定学、宇宙医学、薬物乱用などの分野で、250本以上の論文が査読を経て発表されている。1994年、哺乳類の神経系の進化と社会的な行動とを結びつけるポリヴェーガル理論を提唱。行動の問題や精神医学的障碍の発現において、生理学的状態が与える影響の重要性を強調。この理論により、いくつかの行動、精神医学、身体的疾患に共通する症状の理解が進み、革新的な治療法が生み出されている。

湯浅 景元 Kagemoto Yuasa
中京大学名誉教授

元・中京大学スポーツ科学部教授　日本体育学会名誉会員
中京大学体育学部卒業、東京教育大学大学院体育学研究科終了後、東京医科大学で学ぶ。医学博士、体育学修士。東京医科大学客員講師、オーストラリア・グリフィス大学高等研究員、日本オリンピック委員会強化スタッズコーチングスタッフ）、中京大学体育学部長、学校法人梅村学園評議員、愛知県教育スポーツ振興事業団評議員、名古屋市教育スポーツ振興事業団評議員、豊田市スポーツ振興審議会委員、石川県いしかわ健康フロンティア戦略推進会議委員などを歴任。なお、中京大学在職中は、スケート部部長として安藤美姫、小塚崇彦、浅田真央らの教育に携わった。アテネオリンピックでのハンマー投げ金メダリスト・室伏広治は私のゼミ生であった。
現在、岡崎げんき館整備運営事業推進専門委員などを兼任。